

伝統を受け継ぐ 思うままに創作する

越前漆器 × 小橋 敬一 [福井県鯖江市]

人類はかなり古くから漆を使用しており、福井県の貝塚で発見された世界最古の漆は12600年前のものと推定されています。越前漆器の歴史も約1500年前の古墳時代にまでさかのぼることができます。明治のなかばに入ると、「丸物」と呼ばれる椀物だけでなく、お膳類や重箱などの「角物」も生産されるようになり、1975年には国から伝統的工芸品の指定を受けます。小橋さんは、漆塗り職人であった父を手伝いながら修行を重ね、独力で木地づくりから仕上げの塗りまでを手掛けるようになりました。さまざまな要望に応えつつ自分が納得できる仕事をしたいと、直接小売店や顧客と取引しています。「作りたいものを作ることができる今のスタイルが自分には合っている」と、小橋さんは漆器づくりへの熱い思いを語ります。



●重箱

一段目、二段目、三段目と開けるたびに、工夫を凝らした料理が目を楽しませてくれる。



●汁椀と小皿

かしまった席だけでなく、毎日の食事でもこうした器でいただきたい。



●お盆

来客をもてなす際の必需品。独創的な意匠が目をひく。



●へぎ目八寸

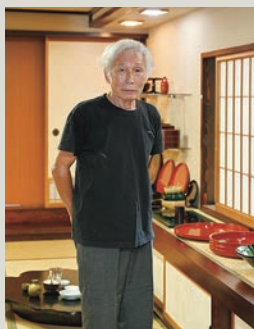
素朴で自然な風合いが、盛られた海の幸、山の幸を際立てる。



●茶筒

ここから出てくる茶葉で淹れたお茶はきっと美味しい。

木と塗りの工房こばし
福井県鯖江市河和田町8-2
TEL 0778-65-0415



小橋 敬一 伝統工芸士

- 1976年 越前漆器展 福井県漆器組合賞
- 1977年 越前漆器展 知事賞
- 第12回全国漆器展 通商産業省生活産業局長賞
- 1980年 第15回全国漆器展 伝統的工芸品産業振興協会長賞
- 1981年 第5回全国伝統的工芸品展 奨励賞
- 1985年 第9回全国伝統的工芸品展 通商産業省生活産業局長賞
- 1990年 '89デザインイヤーフォーラム会長賞
- 1991年 越前漆器展覧会 日本漆工協会会長賞
- 第15回全国伝統的工芸品展 通商産業省生活産業局長賞
- 伝統技術賞
- 2013年 第48回全国漆器展 農林水産大臣賞



木材選びに始まり、木地づくり、塗り、仕上げへと丹精込めて作り上げる。